

# イヌガヤ

【 *Cephalotaxus harringtonia* 】

科名 イチイ科

属名 イヌガヤ属

## 薬効・用途

熟した種子の外種皮は、甘く食べられる。種子からは油が得られ、かつては灯用・髪油に用いられた。材は淡黄色で緻密で堅く、器具・細工物に利用する。海外では葉から発見されたホモハリングトニンが慢性骨髄性白血病に使用されている。



・花期：3～4月

## 備考

低木～小高木となる常緑の裸子植物。本州(岩手南部)・四国・九州、朝鮮・中国中北部に分布する。和名は、カヤに似ているものの、有用性が劣ることによる。種子は卵形で、翌年の秋に紅紫色に熟す。雌雄異株、まれに同株。